



守っていく場所

鉄道員口ケ地は今

わが町南富良野には、守らなければならぬ場所がある。日本全国に感動を巻き起こした、高倉健さん主演の「鉄道員(ぼっぼや)」をご存知だろうか。

物語の舞台となった「幌舞駅」は、「幾寅駅」として現在も利用されている。駅前には、だるま食堂、井口商店、ひらた理容店といった口ケセットのほか、二〇〇五年に廃車となった「キハ四〇七六四号気動車」の一部が設置されている。

構内に入ると、鉄道員展示コーナーがあり、出演者の写真や色紙、使用した衣装などが展示されている。そんな中、ふと目にとまるノートがあった。中を開いてみると、「東京から家族で来ました」

「映画を見て感動しました」など、観光で立ち寄った際に書いたものや映画の感想なるものが書いてあった。ところが、せっかくなかに書き置きしたページにはあることが、びっしりと落書きがあった。内容から地元関係者が犯人と推察される。

このノートは、地方から観光に来た

人々と、地元の人々との交流のためにあるのだから、誹謗中傷を書くものではない。それを地元の人が台無しにしてしまっ

ていいのだろうか。

ノートだけではない。以前、使用可能だったトイレでの喫煙、口ケセット内での飲食や悪ふざけ、駅舎でのポイ捨て・・・こうした心ない行為があったことは、紛れもない事実なのだ。ポランテアで駅の管理をしてくださっている目黒さんは、かつての状況を残念そうに語ってくれた。

毎年、多くの方々が夢を膨らませてやって来る「幌舞駅(幾寅駅)」。ノスタルジックな雰囲気にも包まれ胸いっぱい、帰路についてもらうために、地元の私たちは、ここを守り、語り継いでいかなければならない。

なんが香房 森のパン屋

今年も残り三カ月。南富良野町の二〇〇七年を「森のパン屋」オープンをはずしては語れないだろう。

国道三十八号線沿い、道の駅隣りに建つこのパン屋、近づくともパンが焼ける香ばしい香りがただよってくる。中に入ると焼きたてのパンがずらり並び、奥には買ったパンをその場で食べられるコー

ナーもあり、からまつ園やこざくら園の利用者の手による絵画が飾られ、落ち着いた雰囲気になっている。また、店内から窓越しに、パンを製造している様子が見られるように工夫されている。

では、四〇種類以上あるおいしいパンの中から一部を紹介してみよう。まずは、人気ナンバーワンの「メロンパン」。市販のものとは、ひと味もふた味も違う一品で、その特徴は何と言っても、その軽い口当たり。ふんわり、という言葉では表しきれないほどの食感だ。メロンパンは森のパン屋の看板商品で、店頭に並んでも、あつと言いつきに売り切れてしまうので、「幻のパン」と言ってもよいくらいだ。メロンの味のクリームが入ったものやチョコチップがちりばめられているものなど数種類が売られている。

次に「お星さま」というパン。その名の通り、星をかたどった白いソフトなパンの中に、チーズクリームがたっぷり入っており、パンというよりも、チーズケーキの味わいに近い。形・味ともに子どもに大人気の商品だ。そして、菓子パンといえど、やはり「あんぱん」。これも種類が展開されており、中のあんは小豆の素朴な味を生かすため、甘さを抑えて作られている。これらはどれも百円台で売られているため、町の子どもがお小遣いで買うことができる。

調理パンも種類が豊富。「エビグラタン」は、名前の通りパンの上にグラタンののっているもので、プリプリのえびが楽しめる。「チーズグラタン」はパンの

中にボークウインナーがまるごと入っていて、上にほどよく焦げ目のついたチーズがかかっている。「チーズパン」は、外はカリカリのチーズで、中はモチモチと、ひとつで二通りの食感が味わえる。さらに「ねぎみそパン」や中華風のパンなど、これまでのパンの常識をくつがえすような新作が次々と発表されている。

また、一般にテールパンと呼ばれる角食やクロワッサンなどの品質も高い。

パンのおいしさの秘密は、メニエーの工夫だけではなく、その製造工程にもある。同じパンでありながら、種類によって小麦粉の配合を変えているのだそうだ。

このパン工房で製造に携わっているのは、「からまつ園」や「こざくら園」を卒業した人たちだ。土日は八百個、平日でも四百個の売上有るので、仕事はかなり忙しいといえる。だが、聞くと、パンを作る仕事に本当に楽しいそうで、中には休みの日でも仕事を楽しみからと、店にやって来る人もいるらしい。おいしいだけでなく、自立支援施設という顔も持っているパン屋さんなのだ。

森のパン屋をまとめている杉村博史さんは、「最新作は『おはぎパン』です。パンの中に小さなおはぎを入れてみました。このようにお客さんに喜ばれるパンを日々研究していますので、多くの人に利用していただきたい。気軽にパンを買いに来てください。」と語る。小麦の香りに誘われて、ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。